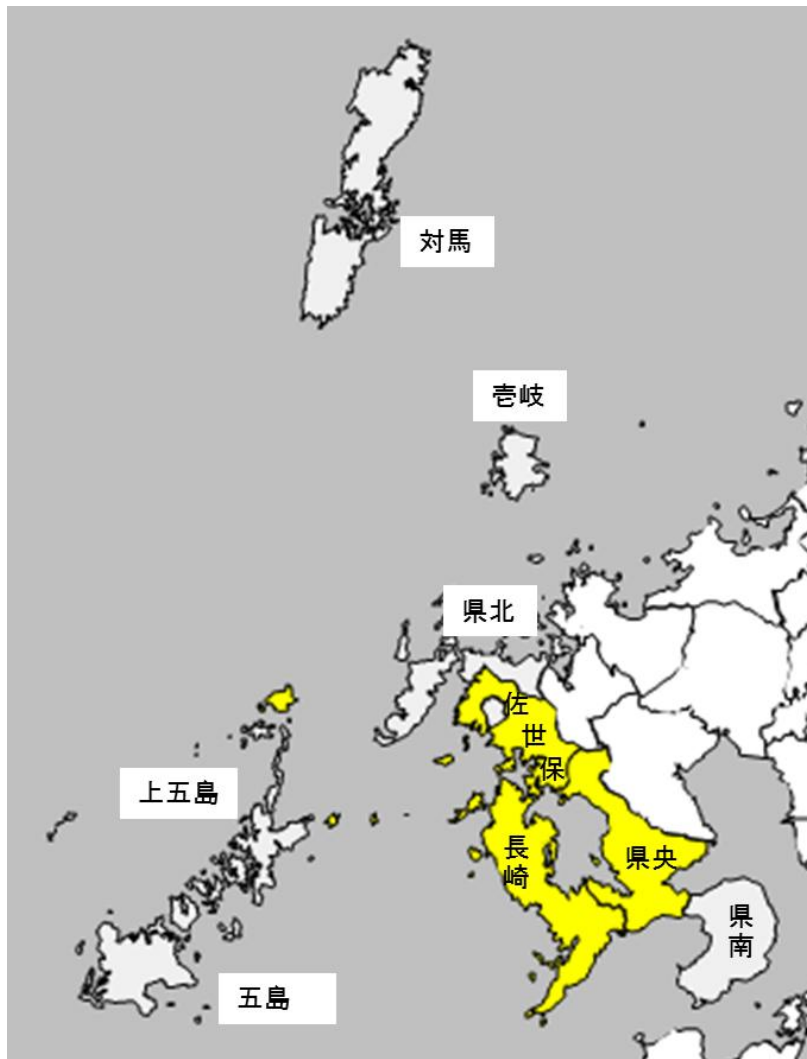


42. 長 崎 県



4 2 長崎県

A. 医療提供体制の現状

長崎県は、五島、上五島、壱岐、対馬の4つの離島の医療圏を抱え、日本で一番離島の医療圏の数が多い県である。長崎県の特徴は、(1) 全県を通して多い一般病床、離島地域に少ない療養、回復期病床、(2) 長崎、佐世保、県央と、県南、県北、離島地域の医療提供の格差である。

(1) 全県を通して多い一般病床、離島地域に少ない療養、回復期

全県を通しての偏差値が、病床数(6.4)、一般病床が(5.7)、病院勤務医(5.6)、全身麻酔数(5.0)、看護師数(6.6)と、病床と看護師は非常に多く、一般病床、病院勤務医が多め、全身麻酔件数は全国平均レベルである。離島を除くと、全県にわたり療養病床や精神病棟が多い。離島は、一般病床が多いが、壱岐を除き療養病床も回復期も少ない。

(2) 長崎、佐世保、県央と、県南、県北、離島地域の医療提供の格差

医学部のある長崎市に38%の人口が集中するが、病院勤務医51%が長崎に集中し、病院勤務医の偏差値(6.6)である。他の医療圏の病院勤務医の偏差値は、佐世保(5.4)、県央(5.5)と医学部の無い地域としては高い。県南、県北、離島は5.0以下であり、しかも手術もほとんど行われておらず、長崎、佐世保、県央と、県南、県北、離島地域の医療提供の格差は大きい。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(長崎)

長崎大学のある長崎の偏差値は、病床数(6.9)、一般病床が(5.9)、病院勤務医(6.6)、全身麻酔数(5.4)、看護師数(7.0)と、非常に充実した医療が提供されており、南部や五島から多くの入院患者が集まってくる。2010→35年の総医療需要が1%増、0-64歳の医療需要が35%減を考えると、急性期医療の過剰感が今後急速に強まっていく可能性が高い。医師養成数の適正化や、高機能病床のダウンサイジングの検討が必要だろう。また、75歳以上医療需要の45%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換すること、高齢者向けの施設・住宅の増強が必要である。

(佐世保)

長崎、県央と並ぶ県の医療の拠点である佐世保の偏差値は、病床数が(6.3)、一般病床数が(6.0)、病院勤務医が(5.4)、全身麻酔数(5.9)、総看護師数(6.6)であり、地方都

市として極めて高い医療資源量である。佐世保には、県北と上五島から、多くの患者が集まってくる。2010→35年の医療の総需要が6%減、0-64歳が32%減、75歳以上が24%増であり、急性期病床の過剰感が強まる可能性が高いので、急性期病床の削減や療養、亜急性期、回復期への転換が求められる。

(県央)

長崎、佐世保と並ぶ県の医療の拠点である県央(諫早)は、病床数が(67)、一般病床数が(60)、病院勤務医が(55)、全身麻酔数(52)、総看護師数(71)と、一般病床と看護師が極めて多いが、病院勤務医数も全国平均を超え、充実した医療が提供されている。県央には県南と上五島から多くの患者が集まってくる。2010→35年の医療総需要が14%増、0-64歳が23%減、75歳以上が62%増であり、将来に向けて、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換や高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

(県南、県北)

県南(島原)と県北(平戸)の偏差値は、病床数が(56)と(56)、一般病床数が(45)と(38)、病院勤務医が(42)と(40)、全身麻酔数(37)と(34)、総看護師数(57)と(53)と、病床数と看護師数は全国平均を超えるが、一般病床、病院勤務医、全身麻酔数が少ない。これらの地域には、療養と精神の病床が多い。県南の患者は県央に、県北の患者は佐世保に受診することが多い。2010→35年の医療の総需要が7%減と0%、0-64歳が41%減と30%減、75歳以上が22%増と28%増であり、急性期病床の一部を療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、地域内の連携を強化することによる急性期医療機能の強化をめざすべきであろう。

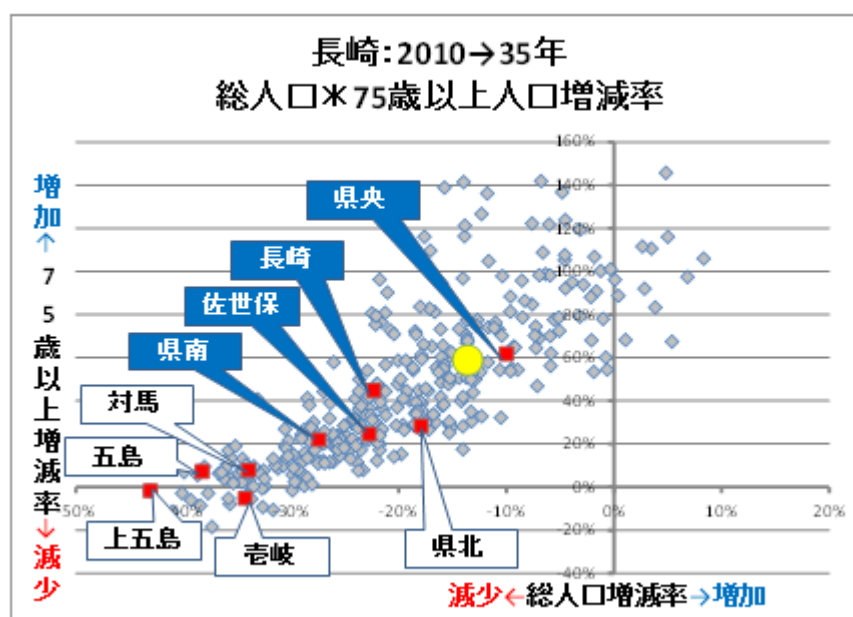
(五島、上五島、壱岐、対馬)

長崎県の4つの離島医療圏は、病床数が(51)と(48)と(63)と(49)、一般病床数が(64)と(60)と(57)と(61)、病院勤務医が(49)と(42)と(47)と(50)、全身麻酔数が全て(32)、総看護師数(51)と(42)と(60)と(52)と、全身麻酔数を除けば、離島としては人口当たりの医療資源量は比較的恵まれている。今後2010→35年にかけての0-64歳の医療の需要が54%減57%減43%減44%減であり、集約とネットワークの強化を基本に、ヘリコプター移送を含めた長崎、佐世保、県央との連携を中心に医療機能を維持することが求められる。

表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
長崎県	1,426,779	27位	4,105	37位	347.5		26%	-22%	35%
長崎	547,587	38%	698	17%	784.6	地方都市型	24%	-22%	45%
佐世保	261,101	18%	426	10%	612.2	地方都市型	26%	-23%	24%
県央	270,050	19%	615	15%	438.9	地方都市型	23%	-10%	62%
県南	145,063	10%	460	11%	315.6	地方都市型	30%	-27%	22%
県北	73,649	5%	398	10%	184.9	過疎型	30%	-18%	28%
五島	40,622	3%	421	10%	96.5	過疎型	33%	-38%	7%
上五島	24,923	2%	239	6%	104.1	過疎型	35%	-43%	-2%
壱岐	29,377	2%	139	3%	212.0	地方都市型	32%	-34%	-5%
対馬	34,407	2%	709	17%	48.5	過疎型	29%	-34%	8%

図 42-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表42-1、表42-2、表42-5、図42-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図42-5)

表 42-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
長崎県	28,816	1.7%	2,020	64	12,632	1.4%	885	57	22,595	1.7%	114	59
長崎	12,439	43%	2,272	69	5,134	41%	938	59	7,460	33%	106	55
佐世保	5,133	18%	1,966	63	2,504	20%	959	60	4,239	19%	119	61
県央	5,829	20%	2,158	67	2,558	20%	947	60	3,691	16%	116	60
県南	2,364	8%	1,630	56	848	7%	585	45	3,130	14%	125	64
県北	1,188	4%	1,613	56	318	3%	432	38	1,241	5%	100	52
五島	560	2%	1,379	51	432	3%	1,063	64	1,148	5%	146	75
上五島	296	1%	1,188	48	242	2%	971	60	613	3%	126	65
壱岐	574	2%	1,954	63	257	2%	875	57	439	2%	80	42
対馬	433	2%	1,258	49	339	3%	985	61	634	3%	116	60

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 42-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

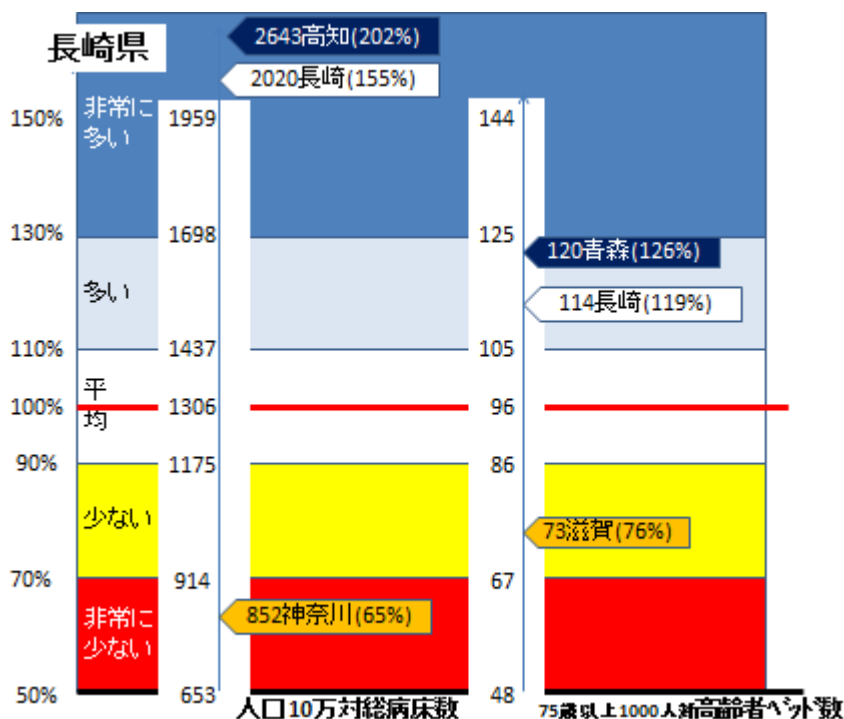


表 42-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
長崎県	6,829	2.0%	479	60	1,022	1.7%	72	55	8,095	2.3%	567	64
長崎	2,725	40%	498	61	618	60%	113	65	3,913	48%	715	71
佐世保	1,173	17%	449	59	167	16%	64	54	1,211	15%	464	59
県央	1,190	17%	441	59	130	13%	48	50	1,884	23%	698	70
県南	815	12%	562	64	83	8%	57	52	614	8%	423	57
県北	579	8%	786	75	24	2%	33	46	267	3%	363	54
五島	54	1%	133	44		0%	0	39	60	1%	148	44
上五島	50	1%	201	47		0%	0	39		0%	0	37
壱岐	206	3%	701	71		0%	0	39	101	1%	344	53
対馬	37	1%	108	43		0%	0	39	45	1%	131	43

表 42-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
長崎県	1	0.5%	0.7	46	6	1.6%	4.2	54	1,710	1.9%	120	63
長崎	0	0%	0	43	3	50%	5.5	57	884	52%	162	74
佐世保	0	0%	0	43	1	17%	3.8	52	223	13%	85	54
県央	1	100%	3.7	59	1	17%	3.7	52	301	18%	111	61
県南	0	0%	0	43	1	17%	6.9	61	183	11%	126	65
県北	0	0%	0	43	0	0%	0	42	64	4%	86	55
五島	0	0%	0	43	0	0%	0	42	13	1%	32	40
上五島	0	0%	0	43	0	0%	0	42	8	0%	32	40
壱岐	0	0%	0	43	0	0%	0	42	13	1%	44	44
対馬	0	0%	0	43	0	0%	0	42	21	1%	61	48

表 42-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
長崎県	2,211	1.4%	155	56	14,316	1.7%	1,003	66	19,418	1.1%	1,361	50
長崎	1,127	51%	206	66	6,032	42%	1,102	70	9,192	47%	1,679	54
佐世保	372	17%	142	54	2,653	19%	1,016	66	5,448	28%	2,087	59
県央	407	18%	151	55	3,023	21%	1,120	71	4,168	21%	1,543	52
県南	114	5%	79	42	1,177	8%	811	57	546	3%	376	37
県北	51	2%	69	40	534	4%	726	53	64	0%	87	34
五島	47	2%	116	49	277	2%	681	51	0	0%	0	32
上五島	20	1%	80	42	119	1%	477	42	0	0%	0	32
壱岐	31	1%	106	47	257	2%	876	60	0	0%	0	32
対馬	42	2%	122	50	243	2%	706	52	0	0%	0	32

図 42-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

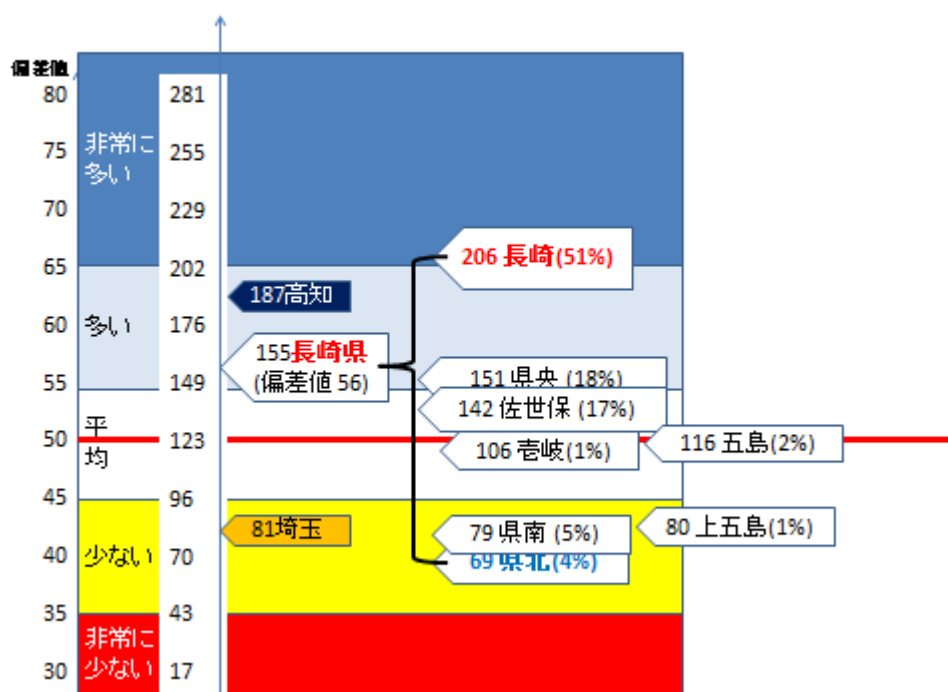


図 42-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

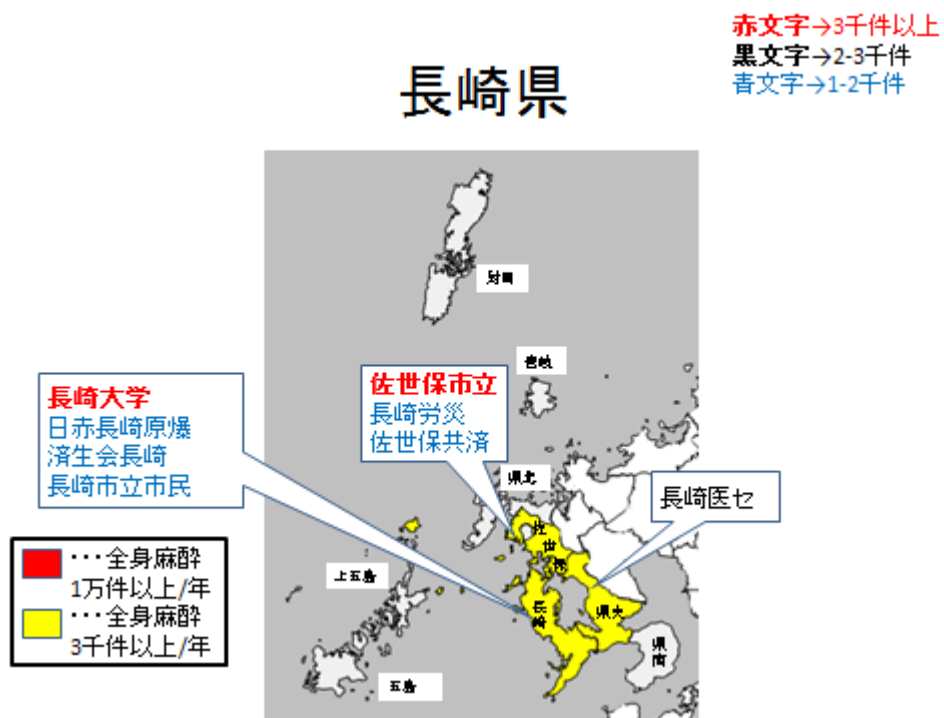


図 42-5 二次医療圏（流入出）

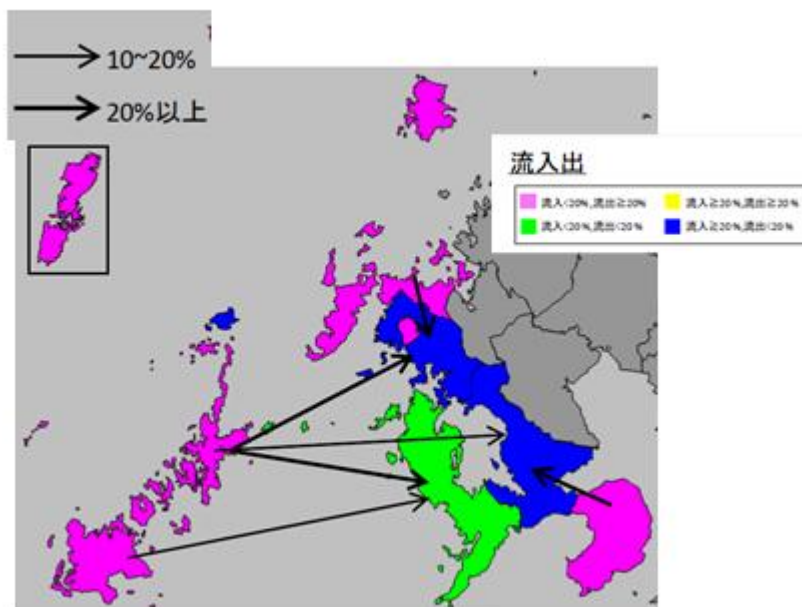


表 42-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設				老人保健施設収容数(再掲)				特別養護老人ホーム収容数(再掲)			
	施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
長崎県	10,246	1.5%	52	51	4,479	1.5%	23	51	5,767	1.5%	29	51
長崎	3,223	31%	46	46	1,473	33%	21	48	1,750	30%	25	47
佐世保	1,765	17%	49	49	745	17%	21	48	1,020	18%	29	50
県央	1,533	15%	48	48	680	15%	21	49	853	15%	27	49
県南	1,334	13%	53	53	571	13%	23	52	763	13%	30	52
県北	740	7%	59	58	330	7%	26	58	410	7%	33	55
五島	546	5%	69	67	200	4%	25	56	346	6%	44	66
上五島	395	4%	81	77	160	4%	33	70	235	4%	48	70
壱岐	320	3%	58	57	160	4%	29	63	160	3%	29	51
対馬	390	4%	71	68	160	4%	29	63	230	4%	42	64

表 42-7 高齢者住宅数(高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム)

二次医療圏	高齢者住宅				有料老人ホーム				グループホーム			
	住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
長崎県	12,349	1.9%	62	59	2,958	1.3%	14.9	48	4,677	3.0%	23.5	71
長崎	4,237	34%	60	58	1,306	44%	18.6	52	1,344	29%	19.2	63
佐世保	2,474	20%	69	63	635	21%	17.8	51	948	20%	26.6	76
県央	2,158	17%	68	62	499	17%	15.7	49	713	15%	22.5	69
県南	1,796	15%	72	65	239	8%	9.5	43	937	20%	37.4	94
県北	501	4%	40	47	58	2%	4.7	39	243	5%	19.5	64
五島	602	5%	77	67	169	6%	21.5	54	303	6%	38.5	95
上五島	218	2%	45	50	40	1%	8.2	42	108	2%	22.2	68
壱岐	119	1%	22	37	0	0%	0.0	35	9	0%	1.6	34
対馬	244	2%	45	49	12	0%	2.2	37	72	2%	13.1	53

表 42-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
長崎県		-1%	-34%	-12%	-26%	35%	29%
長崎	2	1%	-35%	-11%	-27%	45%	37%
佐世保	2	-6%	-32%	-19%	-27%	24%	19%
県央	2	14%	-23%	6%	-13%	62%	54%
県南	2	-7%	-41%	-17%	-32%	22%	18%
県北	3	0%	-30%	-13%	-23%	28%	24%
五島	3	-18%	-54%	-28%	-43%	7%	4%
上五島	3	-25%	-57%	-34%	-47%	-2%	-5%
壱岐	2	-22%	-43%	-31%	-38%	-5%	-8%
対馬	3	-19%	-44%	-31%	-39%	8%	3%

図 42-6 長崎県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

